



石崎たか子 議員

## 東海・東南海・南海地震の備えは

### 質問

9月1日に初めて三つの地震の同時発生を想定して、国の総合防災訓練が行われた。

三大地震はいずれも一連の太平洋プレート境界を震源としている。名古屋圏は、対策の具体化が大幅に遅れている。今、真剣に防災について対処を。今後の方針は。

### 総務部長

いったん有事の際には行政だけではなく、防災マップに示したように各家庭に応じた備蓄もしてもらうよう啓発活動に努める。

### 質問

地域では、「自助・共助・公助」として自分のことは自分で、公助についてはぜひ、行政の力を借りたい。

特に避難所について、大井地区の一時避難所であった「永和荘」がなくなった。かわる場所の指定はないか。

### 総務部長

いざ災害が起きたときは、地域で永和台の集会所とか大井のお寺、また、地震になれば広場とか空き地など、緊急をお願いして対処していく。

### 質問

災害発生時の市民への伝達方法として、佐織地区には戸別受信機があるが、佐屋地区にはない。有線がなく、無線で小規模な設営が安くてできる

と聞いたが、佐屋地区での設置は。

### 総務部長

市としては総体的に計画することになるので進まない。

## 広域農道整備の進捗状況は

### 質問

平成5年度から始まった、広域農道整備事業は、遅々と進展しない。

元来、広域農道は流通機能の合理化、農業経営の安定化を目的に整備されていると思うが、社会情勢の中で工期や事業計画が「土地改良法に基づいて見直しされ、変更されたと聞いている。

その折には、市内の農地保持の組合員から印鑑をもらったが、変更されてからの動きは何も報告されていない。組合員は怒りをもっている。まだ未工事のところは。

### 経済建設部長

昨年9月の政権交代後、行

政刷新会議における事業仕分けで、広域農道整備は廃止された。その後、地域に必要な道路であるとして、地域再生法による「地域活性化計画」の認定を受け、道整備交付金により継続事業として実施することとなった。



県道富島・津島線の東側工事区間

### その他の質問

本市の「事業仕分け」は、下水道に関する全市統一規約を作れ

クローバーTVの整備も全地区に進められたので、万一の情報はTVへテロップで入るといふ制度が変わった。当面は広報車を走らせる。